

### 空家等の問題解決に向けて



町内の空家等について、さまざまな視点から解決策を協議するために「町空家等対策協議会」が設置され、第1回の協議会が役場で行われました。委員は学識経験者等6人で構成され、会長には町社会福祉協議会の泉亭俊徳会長が互選によって選出されました。今後はそれぞれ専門の立場で意見を出し合いながら、今年度末を目標に「空家等対策計画」の策定を行う予定です。 (7月1日)

### 全国一斉に水辺で乾杯！

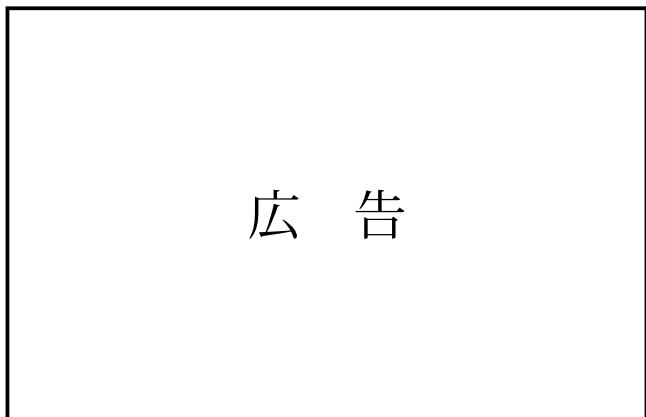


当別川かわまちづくり有志の会が、当別川河川敷(樺戸町)の階段護岸で「水辺で乾杯2019」を行いました。ミズベリング・プロジェクト事務局が推進する、水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクト「ミズベリング」の取り組みの一つで、7月7日の川の日にあわせて、午後7時7分に一斉に乾杯を行うもの(今年は5日から8日の期間で実施)。なお、当別川・パンケチュウベシナイ川は、平成30年度より当別川かわまちづくり計画による工事が行われ、河川の環境整備が順次進められています。 (7月5日)

### 肉用牛審査で青山さん最高位



ホクレンが主催する「石狩管内肉用牛共進会」が江別市で開かれ、青山<sup>しんじ</sup>眞士さん(川下在住)が出品した未經産(未出産)部門の「あきはひめ」が最高位賞を受賞しました。共進会は、家畜の改良と生産性の向上などを目的に開催され、日頃の飼養管理の成果を競うもので、44回目の今年は江別・石狩・当別の3市町から肉牛30頭が出品。あきはひめは、生後14カ月以上17カ月未満の月齢に応じた体積が豊かで肩付きが良く、足腰も強く、体形が鮮明であることなどが高く評価され、9月上旬には全道大会へ出品されます。(7月11日)



花フェスタ出品作品を再現



当別高校園芸デザイン科2・3年生16人が、花フェスタ2019札幌に出品した作品「木響の庭」を総合体育館玄関横で再現しました。町内の倒木や枝を使い自然の森の中をイメージした作品は、花フェスタと同時開催された「北海道農業高校生ガーデニングコンテスト」で奨励賞を受賞。同コンテストでの入賞は初めてで、生徒は力作を多くの町民に見てほしいという願いを込めて作品を仕上げました。



完成した作品

普段は入山できない阿蘇岩登山



ふれ・スポ・とうべつ主催の「阿蘇岩ウォーキング」が航空自衛隊当別分屯基地内の阿蘇岩山で行われました。阿蘇岩山は普段は入山ができないため、この日に限り登山ができる貴重な機会となっており、当別分屯基地の全面的な協力で行われる人気のイベント。町内外からの参加者は、レーダーサイトがある頂上を目指して、標高418m、最大勾配20%、片道約3.3kmの道のりを仲間同士で会話を楽しみながら登る人、山花や景色を写真に収めながら登る人など、心地よい汗をかきながら登頂していました。

